

特106

203

信通トツレフソマ界世

(116)

丁然爾亞の近最

1922

大正
11. 10. 25
内交



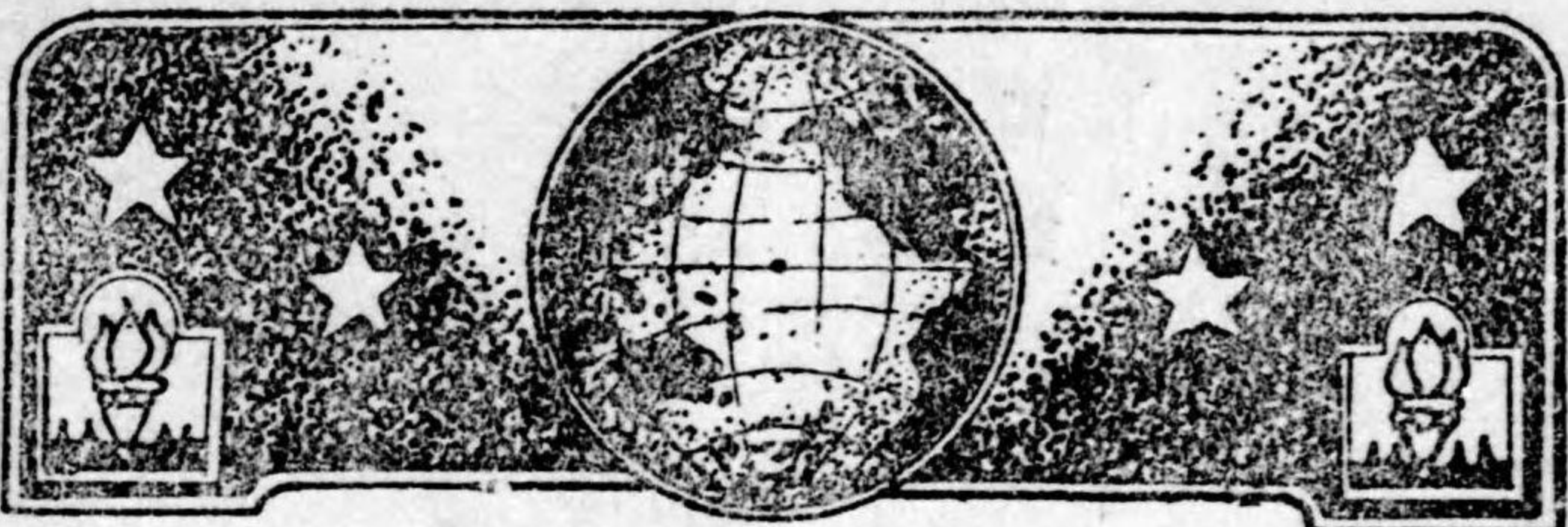
始



亞 國 原 野 耕 作 の 圖



1901

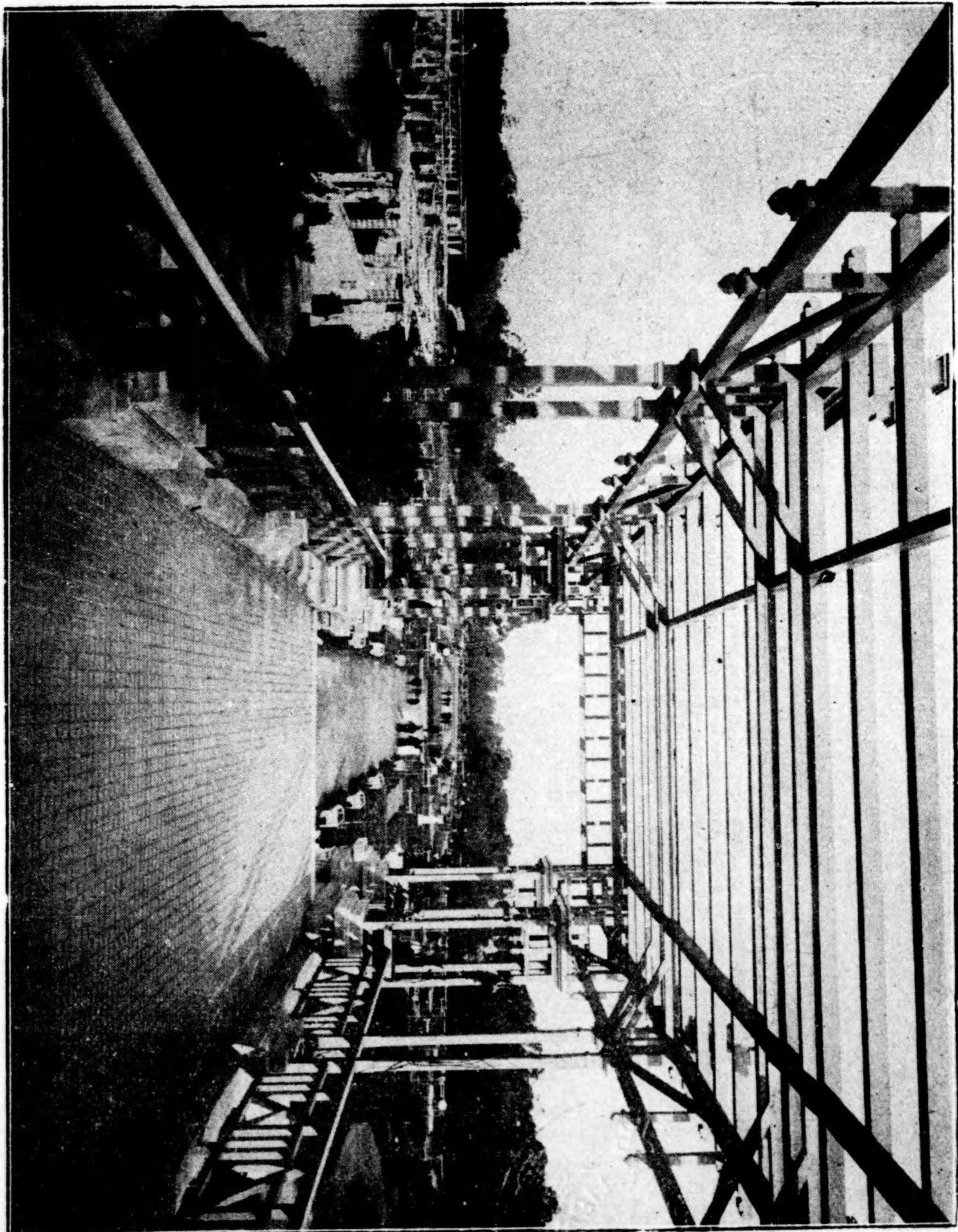


外務書記官
前亞國總領事 山崎次郎著

最近の亞爾然丁

日本の海外發展と南米

世界思潮研究會版



亞爾然丁の風景

目次

- 一 亞爾然丁獨立小史
- 二 地理概要
- 三 產業
- 四 貿易
- 五 政治及軍備
- 六 交通機關及都市
- 七 移民事情と日亞關係
- 八 吾が南米經濟的發展實行案

編者より

北米に濠洲に歐羅巴に支那に西伯利に到るところ海外發展を阻止され、恰も特殊部落の住民に對するが如き態度を以て外國から遇せられつゝある我が日本にとつて、唯だ一つの例外は南米である。そこには排日法が布かれてゐない、排日的氣分が存しない。然かも未だほんの始めの一鍬を入れたばかりに過ぎないその處女地に眠る無限に豊富なる南米の富源は、日本人と言はず凡ゆる人間力による開發を待ちつゝある。然るに日本人に此の自由豊饒なる天地が左程に利用せられず、徒らに他國人に機先を制せられ勝ちであつて、奴隸の如く冷遇され乍らも尙、カリフォルニアあたりの狭苦しい天地に執著せるは何が故か、それには交通の不便、距離の遠隔等の理由もあらうが、彼地の據るべき正確なる事情が充分に吾國人に紹介されてゐない事も一つの大きな理由であると思ふ。

本篇は、彼地に久しく在任して、先般歸朝せられた山崎總領事の編著になるもので、南米中その富源の豊富なる點に於て、又その國家の強大なる點に於て、霸を握る亞爾然丁事情の全般に亘つて記述したもので、未だ曾て發表せられざる新しく、且つ正確なる調査資料である。殊に、最後の二項移民と日亞關係、吾が南米經濟的發展實行案の二項は、人口過剰に悩む日本人の閉却しがたい記述であると思ふ。(茂森生)

一 亞爾然丁共和國の獨立史

2

十六世紀の初頃西班牙王國は當時其の競争國たりし葡萄牙國が「マレノ」群島を發見せしを見て美望やる方なく、一五一五年ドン・ホアン・デイヤスデソリスをして遠く南米を征せしめた。同遠征隊は「ラブラタ」河口の一島嶼に達し、之に水先案内の名を附して「マルテイン・ガルシヤ」と呼び、附近の探檢に着手した。然るに、不幸にも大將ソリスは土人の毒手に斃れ、遠征隊は何等得る所なく空しく本國に引揚げた。

其後葡萄牙は伯刺西爾方面の征服に著々其效を收めつゝあつたが、覺醒したる西班牙政府は「デイゴ・ガルシヤ」をして新に遠征隊を組織せしめ、「ヴェニス」の人「セバスチャン・ガボト」をして水先案内とし、「ラブラタ」河口「サン・ガブリエル」島に達し、茲に碇泊して附近を侵畧した。「ガボト」は益々河を溯つて現在の「パラグアイ」の國境迄進んだが、河岸に住む土人の多くが銀の裝飾を用ゆるを見て、此河流を溯れば遂に銀を産する地方を發見するであらうと信じたが、遂に企圖を實現する能はずして終つた。其後遠征隊の兩將間に紛争を生じ、各自本國へ引揚げたるため、「ガ

ボト」のみ獨り残つて「エスピリトサントス」(今の「ロサリオ」附近)の地に止まつたが、土人の反亂に遭遇し遂に根據地を棄て、「セント・ヴィンセント」に逃れ歸つた。其後「ラブラタ」地方の富源豊かなることを誇張した「ガボト」等の報道に基き、西班牙王「カルロス・キント」は、「ドン・ペテロ・デ・メンドーサ」を地方の總督として任命した。「メンドーサ」は自費を投じて遠征隊を組織し、一五三五年二月二日「ラブラタ」河口右岸の地を相して、此處に「サンチシマトリニダード」部落を創設し、其港を「サンタマリヤ」港と稱した。是即ち「プエノスアイレス」市の濫觴である。當時規模狭少であつて、外部より生活資料を輸入するに便ならず、且又、土人の侵掠を蒙ることが頻繁であつて、遂に窮地に陥り、「メンドーサ」は「エスピリツサントス」に遁れ、「ガボト」の城塞に倚り之を根據として四方を攻畧した。先づ、「カプテンアヨロ」を將として北方「パラグアイ」に入し、「アスンシオン」市を創設せしめた。是れ一五三七年の事である。

其後總督「メンドーサ」は本國に歸還して歿し、「アヨロ」之に代つて總督になり、「ペルー」遠征を企てたが、途中土人の伏兵に陥つて戦歿し、部下亦多く死して遠征は失敗に終つた。「一方アスンシオン」に残留した者共は假に政府を組織し、「ドミンゴ・マルチネス・イララ」を總督として精勵開

3

拓に従事し、當時南米西班牙領中最も重要な部分を支配した。

然るに、西班牙政府が「ムニョス・カベサ・デ・ヴァカ」を總督に任命したため、忽ち、在留民の反亂に遭ひ、「ヴァカ」は遂に本國に逃れ歸り、政府は遂に「イララ」を總督として承認せざるを得ざるに至つた。即ち「ペドロ・ラ・トレ」は其任命の辭令を齎して渡航し、「ラブラタ」初任の教僧として此地に止まつた。

「イララ」の死後「ラブラタ」植民地は秘露に在つた西班牙副王の領下に編入された。副王は「ガライ」なる者を派遣し、「サンタフェ」市を創設せしめ、續いて「ブエノスアイレス」市、即ち、「サンチマトリニダード」を復興せしめた。爾來「ラブラタ」の政治は此地に於いて行はるゝに至つた。一八〇〇年「マーシャル・デルヒノ・ロザス」總督となり、産業教育、其他各方面の治績見るべきもの尠くなかつたが、一八〇六年七月二十七日英國遠征隊の襲ふ所となり、「ブエノスアイレス」市も英軍の爲占領せられ、副王は内地深く「コルドバ」に逃れた。而るに佛人「カブテン・リエ」なる者防禦軍を起し、惡戦苦闘の結果遂に英軍を撃退し、八月十二日「ブエノスアイレス」を回復し、英軍を遠く海外へ追ひ拂つた。其翌年再び英の遠征隊が來襲した、英軍の勢力は一萬一千と稱せら

れ、「ブエノスアイレス」軍は八千五百人で、砲百門を有するに過ぎなかつた。然るに、遂に英軍を撃退し、その司令官を捕虜とした。此の見苦しい敗戦に懲りて爾來英國は「ラブラタ」植民地侵畧の企てを永遠に放棄するに至つた。

然るに「ブエノスアイレス」市の住民には佛人「リエ」の恩を忘れざるもの多く、彼に副王の尊稱を與へたが、本國の西班牙人中には之を快とせざる者もあつた。然るに、本國は「ヒルダルゴ・シスネロス」を派遣し副王とした。彼は一八〇九年「ブエノスアイレス」市へ着任した。

當時北米に於いては合衆國獨立運動に成功し、國民は自由を高唱し「ラブラタ」の人心亦大いに之に影響された。而も英國の來襲は痛く民心を刺戟し、自由の要求亦漸次熱度を昂むるに至つた。然るに、「ラブラタ」人は單に獨立のみを求めず、寧ろ或程度の自由さへ與へられ、ば、本國に對して尙多くの愛着を持つてゐたのであつたが、本國の政策は事毎に之に反するものであつた。

當時西班牙本國にては「ジョセフ・ボナ・パルト」王位に就き、従來「ラブラタ」を統禦したる副王を廢し、新に行政委員會を組織せしめた。而して、西班牙黨の「シスネロス」その首班に列し、租税の誅求、通商の制限等民意に反する施政は甚しく行政委員會に對する反感を増大した。遂に、住

民は行政委員會に對抗すべく執政を置き、之を「*コロン*」と稱した。第一執政に「*コルネリオ・サーヴエドラ*」が擧げられたのは一八一〇年五月二十五日で、これが亞國々祭日の濫觴である。

この執政を中心とする國民統一黨は漸次勢力を増大し來り、愈々獨立の機運を助長しつつあつた而るに西班牙黨の「*エリオ*」なる者黨人を擁して「*モンテヴィデオ*」に倚り、西班牙艦隊と共力して「*ブエノスアイレス*」市を封鎖砲撃し、大いに損害を加ふる事等あり、國內亦所々西班牙黨の暴動起り、統一に歸し難かつた間が可なりの年月續いた。然るに此間「*フンタ・ナシヨナル*」(統一黨政府)は「*パラグワイ*」に「*ベルクラノ*」を、智利、秘露等へ「*サンマルチン*」、「*ウイリヤム・ブラウン*」等の諸將を赴かしめその獨立を完ふせしめた。斯くて漸次西班牙黨の勢力を隣國から取り除いて然る後亞爾然丁に於ける國黨を孤立せしめて之を擊破し獨立を容易にするの策を樹てた。

斯くて一八一六年七月九日「*トクマン*」會議を招集し、茲に聯合各州の獨立を宣言し、國旗と國の紋章とを定めた。青二條の間に白一條を有するものを國旗とし、青白相半する地に握手によりて保持せらるゝ「*フリジア*」式赤帽子と太陽を配合したる徽章を國の紋章と定めた。此の七月九日は國祭日とて、最も重要な日と定められてゐる。而してこの獨立戰爭に最も戰功を收めたる「*サン*

マルチン」、「*ウイリヤム・ブラウン*」の兩將、前者は智利、秘露の獨立を達成せしめ、後者は海將として西班牙艦隊を擊破し、共に亞國獨立の母として尊敬されてゐる。

之を要するに亞爾然丁の獨立史は暴虐の政治と其の顛覆とを語るものに外ならぬのである。獨立戰爭當時の人心を蕩ふるに、住民は一般に自由の獲得に憧憬して本國政府の秕政に反抗して起てる愛民者の間に、自由擁護の氣分が横溢して、革命運動となつたのである。而して佛國の革命、北米合衆國の獨立、西班牙本國の政變、英國遠征隊の來襲等は亞爾然丁獨立運動の誘因を爲して居る。

亞國獨立史の上に顯はれた英亞の關係は多少興味あるものである。

一八〇五年から翌六年に亘る英國遠征隊の「*ラブラタ*」來襲は失敗に終つたが、隣の烏爾奎が亞爾然丁の勢力から脱して獨立した。その當時、英國は烏國を援助して居る。又一八三三年英國海軍は亞爾然丁の領土であつたマルヴィナス群島を占領し、亞國政府の任命した知事ヴェルネを放逐した。爾來同島は英國の行政の下に在るが、亞國政府は決して同島に對する英國の領土權を承認しない、今日迄外交上の懸案として未解決の儘貽つて居る、其後英國人の亞國に移住したのも少なからず、亞國に放下された英國の資本も巨額に達して居るが、純亞爾然丁人の心中には、歴史の頁に

残る汚點と同様に、拭ひ去るべからざる反感が英人に對して抱かれて居る。

十九世紀の初頭に於て西班牙本國の羈絆を脱したる亞國は、一八六〇年九月廿五日に國民の自由を擁護する憲法を制定して以來國運次第に進展し、ロサス政府の批政はウルキサに覆されたるが如き出來事ありしも、其他特に指摘すべき騷擾内亂なく、開國以來百十餘年を経て今日の國運盛況を呈し、南米十個國中、指を第一に屈すべき國となつた。

二 地理概要

亞爾然丁國は南緯二十一度四十分から五十六度に亘り、西徑五十三度三十八分から七十三度の間に擴がれる廣漠たる大國で、即ち、南亞米利加南半の大部分を占めてゐる國である。その面積は未だ三角測地法に據れる調査無く、且つ國境に繫争地域存するため正確なる數字は不明であるが、大約二百八十萬平方基米突、即ち吾が日本の全面積の四倍に當る。南北の長さ三千七百基米、國境線の延長一萬二百基米に及ぶ。その形狀は北部最も擴く、南方へ向ひ漸次狹小となり、三角錐狀をなしてゐる。北は「ポリビヤ」「バラグワイ」、伯刺西爾に境し、西はアンデス山脈の高峰を分水嶺とし

て智利と隣接し、東は「パラナ」河を以て伯刺西爾及び烏爾奎に境し、東南一帯は二千五百基米に亘る海岸線となつてゐる。

氣候は寒溫熱の三帶に跨がり、北部の氣候は吾が臺灣に等しく、南端地方は吾が樺太に等しい。中部一帯は溫帶に屬してゐる。内地は海岸地方に比し乾燥著しい傾向はあるが、溫度は夏季に於いて攝氏四〇度を越えず、冬季でも零點以下に降る事は無い。海岸地方は雨量多く、殊に夏季に於いて著しい。然るに中央部は降雨稍少く、「アンデス」地方は極めて稀である。全國平均溫度は北部の最高攝氏二十四度、南部の最低五度である。土地は「アンデス」山脈の高峰より漸次大西洋岸へ傾斜してゐる。

以上を綜合するに、亞爾然丁は大部分溫帶地圏に在りて溫度濕度共に中庸を得人類畜類の生育に最も適し、農産も亦收穫多く、殊に首府ブエノスアイレス市並其附近一帯の地方は春夏秋冬頗る適順にして寒暑共に我東京よりも緩和である。

三 産 業

農業

亞爾然丁國は世界に於ける農業國として既に知られてゐる、その産業の主なるものは農業である。然るに此國に於いてその全面積の三分の一は農業に適し、三分の一は牧畜業に、殘餘の三分の一は都市山林湖沼及び荒蕪地となつてゐる。右の農業適地中既耕地は僅かに二千五百萬町歩に過ぎず、余は未だ何等手を付ける事無く放棄されてゐるのである。

農産物表

品目	耕地面積	産額	備考
小麥	六百萬町歩	四百六十七萬噸	一九一八—一九一九
亞麻	百二十萬八千町歩	七十八萬噸	一九一八—一九一九
玉蜀黍	三百三十三萬九千五百町歩	五百六十九萬六千噸	一九一八—一九一九
燕麥	四十八萬四千九百町歩	四十九萬噸	一九一八—一九一九
大麥		十萬噸	

砂糖	十萬六千七百町歩	二十萬噸	一九一三年
葡萄		六十七萬噸	

以上の外に棉花(將來有望)馬齡薯、煙草、馬糧をも産する。四大重要農産物、即ち小麥、玉蜀黍、亞麻、燕麥等は年々海外に輸出され、貿易品中の主なるものとなつてゐる。

牧畜業

一九二〇年度調査の畜類數を示せば

牛	二千七百萬頭	馬	八百九十萬頭
豚	三百二十萬頭	家禽	二千五百萬羽
ミニール	五十九萬頭	驢馬	二十七萬頭
緬羊	四千五百萬頭	山羊	四百五十萬頭

而して、右家畜より年々生産する畜産額は四億圓内外に達する。その内譯は、
 食肉凍肉鹽肉……………一億八千萬圓

羊毛.....一億三千萬圓

牛皮.....一億圓

牛酪.....約一千六百萬金ペソ

乾酪.....約三百萬金ペソ

畜産工場としては米國市俄古「スキフト・アーマー」會社の支工場が「ラブラタ」市にある外、大小九個の會社に於いて凍肉罐詰等を製造しつゝある。輸肉總額は五十六萬一千噸に及んでゐる。輸出先は「ポリビヤ」「ブラジル」、智利、西班牙、北米合衆國、佛蘭西、英吉利、南阿弗利加等である。亞爾然丁の牧畜見積價格を擧ぐれば、家畜三十三億弗、牧場百二十億弗、附屬機械機具十億弗、合計百六十三億弗に及ぶ。而るに、亞國の富力三百四十億弗に比し、如何に牧畜が重要な位置を占めて居るか知られる。併しまだ此國に於ける牧畜業の將來は頗る遠大であつて、牧畜適地の僅かに二割が利用されてゐるに過ぎない。

工業

農業、牧畜業に比し工業は頗る振はない、蓋し亞國國情の然らしむる所である。併し近年大いに獎勵せられた結果、戦時より最近五六年間に目覺ましい發達を遂げたものもある。

一、生産工業
工場數 一萬四千七百十三
投資々本總額 七億九千四百八十三萬ペソ%
生産總額 九億一千三百三十五萬ペソ%

生産品は、冷蔵肉、砂糖、小麥粉、葡萄酒、酪乳、ビール、酒精、マテ茶、食用油、材木、石炭、大理石、熔礦爐、羊毛精製品等

二、製造工業
工場數 一萬四千七百九十四工場
投資々本總額 四億五千五百二十二萬ペソ%
製産總額 六億六千八百七十九萬ペソ%

製造品は製氷、鑛泉、糖菓、チョコレート、麵類、製靴、ブリキ製品、モザイク、車輛、家具、金屬製品、石鹼、化學製品、硝子器、帽子、織物、麻布、卷煙草、紙、馬糞紙、鞣皮等。

三、手工々業
工場數 一萬八千七百三十二工場
投資々本總額 一億七千六百萬ペソ%
製品總額 二億六十六萬ペソ%

製造品はパン、コーヒー粉、洗濯物、被服仕立、染色品、靴、建築物、桶、貴金屬細工品、寶石細工品、時計等。

工場數 二百四十
四、公共事業的工業 投資々本總額 三億六千四百四十八萬ベソ%
生産總額 一千二百八十六萬ベソ%

衆益を目的とする工業であつて、建築、道路工事、電氣瓦斯供給、楊穀機、倉庫、冷蔵設備等である。

叙上の如く近年工業方面も多少の進歩を遂げ來つたのであるが、戦前に於いて資本と労働とを海外に仰いだ結果、生産費過大となり工業は何れも困難であつた。而るに今日に於いては何れの工業を起すも相當利益を擧げ得るため漸次進展の傾向がある。

然るに工業の動力たる石炭及び水力に豊富ならざるは此國の工業上の最大缺點なるが、石炭は諸所に鑛脈の存在を傳へらるゝも未だ發掘に成功したるものなく從來英米産の石炭を用ひつゝある。又、地勢上急流瀑布に乏しく、水力の利用すべきものがない。「バラナ」河上流の瀑布「イグアス」利用の計畫もあるが、工業地を距る事餘りに遠く、爲に多年の宿題として其儘になつてゐる。

鑛業

亞爾然丁に於ける鑛業としては石油の採掘を最も重要なるものとする、石油油田としては「フフイ」州「メンドサ」州「チュブツト」州のもの最も有名であつて、その中「チュブツト」州の「コモドールリヴァタヴィヤ」油田は一九〇七年發見され、今日は既に三十二萬六千八百八十五キュビツクメートルの年産額がある。各油田の蓄油量は頗る豊富であつて、今後採掘方法の完備と共に有望なる産業の一つとなるであらう。石炭採掘並に他の鑛産には特に注目すべきものもない。

四 貿易

總説

亞爾然丁國は最近數年間に年額金貨十億弗の對外貿易を爲し、輸出は常に輸入に超過し、出超年々一億七千萬弗から三億七千萬弗に及んでゐる。

最近十年間の統計に據るに、亞國對外貿易は漸次増加しつゝある事實を示してゐる。

亞國統計局發表

年 度	輸 入	輸 出	出 超
一九一〇	三億七千九百萬弗	三億八千八百七十萬弗	九百七十萬弗
一九一一	三億四千二百萬弗	四億五百萬弗	六千二百七十萬弗
一九一二	四億四千七百萬弗	五億二百萬弗	五千四百八十萬弗
一九一三	四億九千六百萬弗	五億一千九百萬弗	二千二百九十萬弗
一九一四	三億二千三百萬弗	四億三百萬弗	八千六十萬弗
一九一五	三億五百萬弗	五億八千二百萬弗	二億七千六百六十萬弗
一九一六	三億六千六百萬弗	五億七千三百萬弗	二億六百八十萬弗
一九一七	三億八千萬弗	五億五千萬弗	一億六千九百八十萬弗
一九一八	五億弗	八億一百万弗	三億八十萬弗
一九一九	六億五千五百萬弗	十億三千一百万弗	三億七千五百十萬弗

表の示す如く輸出入共に増加し、出超額年々増えてゐる。之を數量に就て見ると輸入は一九一三年

迄漸次増加し、一九一四年に急激に減少し、それより漸次減少の傾向を示してゐるに係はらず、價格は不斷に増加してゐる。輸出の方は數量に於いて多少の増減あるも大差なく、價格は約二倍に達してゐる。

亞國の對外貿易は最近五十年間常に順調なる發達を遂げてゐる。輸入は一八六六年から一九一九年に至る約五十年間に於いて、輸入の逆潮を呈したる事唯三回のみで、極めて順調に發展し來り、僅かに四千萬弗より今日は六億五千萬を突破しやうとしてゐる。輸出の方は同じく一八六六年より一九一九年に至る五十三年間に於いて、唯一回逆調を呈したるのみ、他は常に旭日昇天の勢ひを以て三千萬弗より十億三千萬弗に達してゐる。是實に他の諸邦に稀に見る處であつて、多額の出超は此國の富力の増大を語つてゐるものである。

輸 出

種 類 (品 目)	一九一八年度	全輸出額との百分比	一九一九年度	全輸出額との百分比
畜 産 (畜類肉類其他)	500,924,315弗	62.5%	548,730,950弗	53.2%

穀	原料。小麦。大麦。 燕麥。玉蜀黍。砂糖 リンゼード。棉花	259,216,131 弗	32.3%	438,435,276 弗	24.6%
林産	(ケニア。ツチ。木材) (エキマ)		1.9%		2.4%
其他	(石油。野獸皮。) (漁獲等)		3.3%		1.8%

右表中に示す通り畜産の輸出が最も多額である、畜産業は實に此國の誇である。その規模の壯大なること外人の等しく驚嘆する處である。而して畜産物中主なるものは畜肉であつて、之は凍藏、鹽藏、罐詰として輸出されるものである。凍藏は最近主として用ひらるゝ方法であつて、屠殺したる牛羊豚類の食用に供し得ざる、而して腐敗し易き部分を除き、一匹の儘にて冷蔵室にて凍肉として之を其儘船室の冷蔵庫へ入れて運搬するのである。斯くする時は熱帯地方を長い間航海し、南米より北歐に輸送するも何等變質すること無く世界の南端で屠つた肉が北歐の食卓に備へられるのである。

この亞國の畜肉を購入する國は全世界に亘り、その百萬弗以上の國を擧ぐれば次の通りである。

一九一九年統計にる。

英	二九四	米	八九	佛	一一四	白	五九
蘭	五五	伊	四一	伯	三七	西	一九
了抹	一八	那威	一六	瑞典	一二	獨	九
ウルクアイ		巴拉グアイ					
烏	七	巴	六	葡	五	智	三
フィンランド	二						

日本は一九一八年に二百八十六萬六千五百七十五弗を買つたが、是が日亞貿易の最高年額である。其後は漸次減少しつゝある。

輸 入

輸入品目及び價格を表示すれば

種 類 (品 目)	價 額
動物 (牛馬羊豚の類)	一一〇五四三二〇

食料品
 煙草類
 飲料 (酒類、鐵泉類)
 織物及其原料 (絹、毛、棉、其他)
 油脂類
 化學原料、製品、藥劑、
 染料
 木材及唐木
 紙及び紙製品
 皮革類
 鐵鋼類
 其他の金屬
 農具

八四、四八六、九四五
 九、五六八、八三八
 九、五九六、六六一
 二一六、二三八、〇五八
 三五、八六八、八五八
 四〇、二〇二、八六二
 五、三八七、一六七
 三一、三四八、八〇六
 二〇、二二五、三八六
 三、三三四、二四三
 六七、五八〇、四三一
 二四、四二七、〇六四
 一六、〇五一、六五一

石材粘土硝子陶磁器
 電氣機具機械
 其他の製品
 計

五四、四七五、八〇一
 九、〇七八、八五八
 二五、八五五、三四五
 六五五、七七二、二九四

右の輸入を仰ぐ各國中百萬弗以上の國名と金額とを擧ぐれば

英 一億五千四百萬弗
 米 二億三千二百萬弗
 伊 二千百萬弗
 伯 四千七百萬弗
 墨 千二百萬弗

獨 百萬弗
 佛 二千五百萬弗
 西 四千六百萬弗
 日 二千五百萬弗
 其他 八千五百萬弗

日亞貿易

日本と亞爾然丁との貿易關係が開かれたのは日露戰爭以後の事である。併し當時の金額は僅少に

して言ふに足らず、統計上に表れたるは一九一三年であつて、當時も僅かに百五十萬圓に過ぎなかつた。品物は絹及び絹製品であつた。然るに一九一六年頃より大戦の影響は俄然日亞貿易の發展を促がし、一九一七年には大阪商船會社がその出張員を「ブエノスアイレス」市に派遣する事となり、隔月一回日亞直通の船便を開くこととなり後には毎月一回、時に臨時船をも仕立て、日亞間の貿易に従事し、日本郵船亦毎月一回亞國港に寄港する事となつた。斯くて一九一九年には本邦より亞國への輸出約三千萬圓に及び、品目は絹織物、玩具、陶磁器、美術品、雜貨等であつた。本邦への輸入亦八百萬圓に達し、羊毛、ケブラツチヨエキストラクト、牛骨、穀類等で、洵に長足の發展で有つた。大戦休止直後も暫くは豫想以上の好況を續け、一九二〇年の如き絹織物のみでも三千萬圓に達する有様であつた。而るに其後漸く英國工業の復活と共に、英國品續々入り來り、一時の好景氣に乗じて過剩なる商品を持ち込みたる本邦商店は、茲に大打撃を蒙り、異常の難局に會するに至つたが、同業組合と金融銀行の援助とに依つて僅かに店舗を維持する有様となつてゐる。最近在亞日本商業會議所の如きもその維持困難の故を以て已むを得ず解散の運命に遭遇した。

以上の如く、大戦の影響の下に一時多望なる發展へ向つてゐた日亞貿易も、昨今甚しき不況に陥

つてゐる。是は、要するに一般商人が一時の好景氣に乗じ、亞國內に於ける眞の需要と供給とを精密に計算する事なく妄りに輸入を企てたるに基づくものである。空前の戦亂後に未曾有の經濟的變動が顯はれ稀有の不況が貿易界を襲ふと云ふのは洵に止むを得ないが、此の不況の大波に洗はれたる今後の堅實なる發展こそ眞に日亞貿易の基礎を固むるものであると思はれる。

今後の日亞貿易

大戦迄を一區劃とする日亞貿易は、今後新しき第一步を踏み出さなくてはならぬ、それには特に種々の點に注意も改良も加へねばならぬ。又豫め計畫を樹て、方針を定めて努力する事が最も必要である。

對亞貿易上注意すべき事項を列舉して見れば、

第一の障害たる兩國間の遠隔といふ事實は貿易發展上頗る不便を招くものであるが、之は吾が海運事業の發展、彼地に於ける本邦人の企業及び移民の増加等に依り漸次解決せらるゝ事と思はれるが貿易振興上兩國間の距離短縮の方法を講ずる事が肝要である。

亞國は從來歐米製造品の販路であつたが、前陳の如く、戦時世界經濟界の變動を利用して、本邦

商品の販路を開拓した場處である。従て我商品は彼地に於て歐米の商品と競争せねばならぬ。例へば我玩具、絹製品、陶磁器等は或は獨逸品、佛國品或は亞米利加品、英國品等との競争がある。

故に亞國市場向商品の品質は随分吟味せねばならぬのに、從來我輸出商は東洋の土人か支那人の需要に應ずる様な品物を輸出したのである。爲めに本邦品の聲價が傷けられるのは遺憾なるのみならず、是では逆も歐米品と競争は出来ぬ。是は對南米通商上第一に注意を要し、改良を要する點である。

第三の障害は、歐米の市場にて一度季節を経過したるものが亞國市場に誘入せらるゝ利益があるのに、本邦商品は右の如く利用することを得ぬのである。

第四は、歐洲流行は直に亞國に誘入せらるゝを以て流行品を適當に我より亞國に輸入すること往々困難あり、又其嗜好も全然歐米の嗜好と同一なるが故に、本邦製品は特に此の嗜好に投ずる様製造せらるゝを要する等輸入品製造家側に於ても多大の苦心を要すること等日亞兩國の通商には幾多の不便困難が横はつて居るが故に、貿易業者は一般に之等の諸點に注意し、周到なる用意をなすにあらざれば、多大の利益を收むる事は困難であらう。但し其の營業の方法宜しきを得ば、他の方面

よりも収益大なるべしと思はれる。何故ならば、亞國は國土廣大にして人口次第に増加するのみならず、世界中食料品原料等の輸出國として重きを爲し居り、是等輸出は年々増額し國富次第に蓄積し、國民の購買力又次第に増進する傾向にあるを以て、各種製品の需要も亦次第に増加すべきは自然の趨勢であるからである。然るに亞國に於ては工業未だ發達せず、殆んど凡ての製造品は之を外國より仰ぐ状態に在るを以て、製品は世界の各方面より輸入せられ、戦時中の好況は將來の輸入に前途あることを推知せしめたのである。故に亞國に在る本邦商店の如きも、單に本邦品のみの取引に限定せず、世界の各地に於ける支店或は代理店と聯絡をとり、大規模の經營を行ひ、歐米の製品と併せて本邦製品の販賣を爲して行つたならば、その利するところ頗る大なるべしと思考するのである。

是等諸點に注意し眼前の小利を棄て、將來の大計畫を樹立するに於ては對亞貿易は頗る有望なることは疑もなし。

五 政治と軍備

大統領

亞爾然丁は共和國として最も普通の型に従ひ、立法機關として上下兩院、司法機關として裁判所行政機關として大統領及び各大臣を有してゐる。

右の内大統領は普通選舉に依る直接人民投票に於いて絶對多數を占めたるもの、その資格は一、加特利教徒。二、三十歳以上。三、亞國領土内にて生れ、或は亞國々籍を有する父母より生れたる事、故に歸化外人は大統領たる事が出来ない。任期六年。

上下兩院

上院議員は大統領と同様の形式に依り選ばれ、三十歳以上、六年以上亞國々籍を有する者、選舉區に生れ或は二年以上住所を有する者、年收二千弗以上の収入あるもの、而して各州二名宛任期九年、三年毎に三分の一改選。

下院議員は二十五歳以上、四年間以上市民たりし者、選舉區に生れ或は二年以上住居せる者、而して直接人民投票に依り選ばれ、任期四年、二年目毎に半數改選さる。

下院に於ては目下急進黨最も勢力を占め、他に改進黨、社會黨、保守黨等がある。現在の大

統領イリゴイエン氏は急進黨に屬し議會内に大勢力を有してゐる。此國に於いては門地動靜等を認めず、専ら人物本位、能力本位なるため、如何に顯官と雖もその父母の不明なる人が多數ある。イリゴイエン氏の如きその一人である。

尙亞國には目下他國同様社會問題、労働問題の聲も可なり喧しくなりつゝあるが、之は本文には略する事とする。

軍備

徴兵制度を採用してゐる。故に亞國に生れ、又は亞國々籍を有する者は滿二十歳より四十五歳迄兵役の義務がある。現豫後備國民軍の四種に分ち現役は十五萬人内三萬人を常備軍とする。凡て佛獨の兵制に倣つてゐる。海軍は毎年二千人を募集し、戦時には一萬人を動員する。南米第一の海軍國であつて、日露戦争當時日本は亞國より日進春日兩艦を購入した事を以て記憶されてゐる。海軍の勢力等は之を畧す。

六 交通機關及び都市

鐵道

一八五七年初めて布設せられ、爾來六十年間に長足の進歩を遂ぐるに至つた。初め資本總額僅かに二十八萬五千金ベソに過ぎなかつたものが、一九一七年に於ては十四億三千四百八十萬二千三百〇三金ベソに達し、延長三萬六千五百基米となつた。主に首府ブエノスアイレス市を中心とし、四方に走つて農牧の開拓と密接なる關係を保つてゐる。最も重要な線路は太平洋鐵道會社のアンデス横斷鐵道であつて、該會社は資本金五億ベソ、鐵道總延長三千四百哩、旅客數年一千六百萬人、荷物取扱高六百萬噸、收入五千六百萬ベソ以上にも及ぶ大會社である。これはブエノスアイレス市からパヒヤ・プランカに續き、又ラプラタ河の運輸と連絡する。又、パラグアイに通ずるものと、ポリビヤに通ずるものがある。最近智利外相と亞國當局との間に智亞兩國を聯絡するアンデス山脈横斷鐵道を新に二線布設する協議が行はれた。併し、之は工事の困難と資本の缺乏との爲め、未だ着手せられない。

種類は國有線、英佛獨等の會社私線併せて一二、それに三線の國際聯絡線がある。又

一、廣 軌 (一米六七六)

六一%

二、狹 軌 (一米)

三二%

三、中間線 (一米四三三)

隣接國聯絡線

の割合になつてゐる。

海運

ブエノスアイレスを中心とし、歐洲北米方面との運輸に従事する十有餘の海運會社がある。この中には吾が大坂商船會社を初め世界有數の海運會社が殆んど全部含まれてゐる。國別にして船舶數及び噸數を示せば、

(一九一九年調査)

國名	船舶數	噸數
獨逸	一艘	四千四百十一噸
白耳義	二七同	七萬五千九十九同
ブラジル	九二同	十二萬二千同

北米合衆國	日 本	伊 太 利	英 吉 利	和 蘭	希 臘	佛 蘭 西	フインランド	西 班 牙	デンマーク	支 那	智 利	玫 馬
一八四同	二四同	七四同	三七五同	六二同	六同	五二同	七同	六五同	四二同	一同	一〇同	一艘
			百二十八萬五千五百五十五同									千三百噸
			八萬六千二百六十三同									九千七百同
			四十一萬八千八百同									三千八百七十一同
												六萬六千同
												十八萬四千同
												一萬二千同
												十九萬六千同
												一萬三千同
												十七萬一千同

合 計	内 國 船	ウ ル グ ワ イ	ス ウ エ ー デ ン	ル ー マ ニ ヤ	葡 萄 牙	ペ ル ー	諾 威
一三四七同	一〇七同	五同	三八同	二同	五同	一同	一六六艘
							三十萬一千噸
							二千同
							一萬一千同
							四千六百八十九同
							八萬五千同
							五千七百五十同
							五萬七千同
							三百三十五萬六千五百同

フエノスアイレス市

亞爾然丁の首府フエノスアイレス市は南緯三十四度三十分、西經五十八度二十一分、ラブラタ河口を去る二百七十五基米の西岸に位し、東西六里、南北四里半、人口百六十五萬を有する南米第一位の大都會である。農産物の集散地たると共に外國貿易の中樞を爲し、繁盛なる都會であつて、全然

歐洲式の秩序整然たる市街は美觀を呈してゐる。市内交通機關たる電車は車臺數三千三百二十八臺を有し、自動車全數一萬三千臺、馬車二千六百臺に及んでゐる。政廳、國會議事堂、國立銀行、水道局、鐵道局、停車場、ホテル等高壯美麗なる建築物數ふるに遑なく劇場には巴里のグランドオペラに比敵すべきテアトロコロンの外に大劇場七つもある、併して歐洲の夏期は此地の冬期社交季節なるを以て、彼地の名優一時に來集するを常とする。其他ナシヨン及ラ・プレッサの如き大新聞社あり、公園、動植物園等の設備、善美を盡して居る。

港としてのプエノスアイレスはマデロ港と稱され、一八九七年築港竣成した。マデロ大統領の盡力に依る處のもので、當時將來の發展を豫期して大規模に設計せられたるため、後日船舶出入に對し多大の便宜を得た。然るに漸次貿易進展と共に再び同港も狹隘を告ぐるに至り、今亦新築港の計畫中である。現在のものは港内の面積六十六萬平方米、費用二千五百萬弗を要してゐる。港の周圍には三十七箇の保税倉庫があつて、百三萬三千三百二十六噸の貨物を藏する事が出来る。

七 移民事情と日亞關係

外國移民狀態

亞爾然丁國はその面積世界第九位なるに係はらず、人口は一九一九年の調査に於いて八百五十三萬三千三百三十二人となつてゐる。而して、六年前の一九一四年の調査と比較して僅かに六十萬人の増加に過ぎない。如何に人口増加の遅々たるか知られる。今國別にその住民數を擧ぐれば、

亞爾然丁人……………	五百五十三萬七千人	伊太利人……………	九十二萬九千人
西班牙人……………	八十二萬九千人	露西亞人……………	九萬三千人
佛蘭西人……………	七萬九千人	土耳其人……………	六萬四千人
奧太利人……………	三萬八千人	獨逸人……………	二萬六千人
葡萄牙人……………	一萬四千人	英國人……………	二萬七千人
ブラジル人……………	三萬六千人	日本人……………	二千五百人

即ち右の如く日本人は僅々二千五百名に過ぎない。全人口の面積に對する比例は、一平方哩當り七名といふ稀薄さを示してゐる。職業上より言へば農業最も多く、商業工業之に次いでゐる。而

して各業凡て外國人の方が多數を占めてゐる。

當國への移民の入國數は年々多數に上り、一九二三年迄の九年間に於いて十六萬四千四百七十四人の増加があつた。大戰中は一時入國者が減少したが、戦後は再び増加してゐる事と思はれる。

在留日本人の狀況

亞爾然丁全國を通じて在留する日本人は、二千五百名内外であらう。それ等邦人中本邦人の經營する會社商店に勤務する者は極めて少數である。多くは、外國人の經營する工場の労働者である。又自ら土地を借り農業牧畜を營む者も少くない。又家庭労働に従ふもの相當多數を占めて居る。其他ホテルのボーイもある。料理店の皿洗もある、自働車の運轉手もある、花屋もある、軒髪屋もある、洗濯屋もある、洋服屋もある。プエノスアイレス市に在る邦人經營の會社商店中主なるものを擧ぐれば、

高島屋飯田商店
相良商店
三井物産會社

日本綿花株式會社
信友組(株式會社)
日本貿易株式會社支店

大西商店
山田會
矢野上甲商店
日本郵船會社代理店
横濱正金銀行支店
メイゾン薩摩
藤松商店
バザール東京
東京トレイディング商店

瀧波文平商店
南米會
鈴木商店
大洋商工株式會社
大阪商船會社
共三組(株式會社)
加藤會
珈琲東京

又、この外プエノスアイレス市其他各地に於て珈琲店を營む日本人は合計五十五名程ある。一般労働に従事する者の收入狀況の概略を示せば、

珈琲店皿洗ひ (月給九十弗乃至六十弗)
同ボーイ (同百五十弗乃至六十弗)

- 同 監 督 (同百六十弗乃至百弗)
- 理 髮 師 (日給八弗乃至四弗)
- 洗濯店雇ひ (月給八十弗乃至七十弗)
- 洗濯店アイロン使女 (日給五弗乃至三弗)
- 商店雇 (月百八十弗乃至百弗)
- 藥種店手傳 (月八十弗乃至四十弗)
- 自動車運轉手 (月百八十弗乃至百弗)
- 運轉手見習 (月四十弗乃至廿五弗)
- 時計修繕師 (月二百弗内外)
- 印刷職工 (日給八弗乃至四弗)
- 大工 (日給八弗乃至五弗)
- 工場労働 (十五日拂ひ、月廿四五日)
- 1、鐵工場 (日給六弗乃至四弗)

- 2、陸軍工場 (日給七弗乃至五弗)
- 3、船工場 (日給八弗八十仙乃至六弗)
- 4、船掃除夫 (日給八弗乃至七弗)
- 5、木工場 (日給六弗三十仙)
- 6、靴工場 (日給四弗乃至三弗五十仙)
- 7、織物工場 (日給三弗)
- 8、肉工場 (日給六弗乃至四弗)
- 9、化學工場 (日給七弗乃至四弗)
- 家庭奉公
- 1、ボイ (月百弗乃至四十弗)
- 2、掃除ボイ (同七十弗乃至四十弗)
- 3、コック (同百五十弗乃至六十弗)
- 4、庭手 (同九十弗乃至六十弗)

5、野菜 ックリ (同上)

6、召 使 女 (同八十弗乃至三十弗)

7、夫 婦 者 (同百五十弗乃至百弗)

以上は日本人或は外人の下に使庸人労働者として働きつゝあるものである。

本邦人經營の野菜園が二十一ヶ所ある。主として武市附近に集中して居る。

現今邦人の海外發展上最も有利なる天地

國民の海外に於ける經濟的發展は内國に於ける民力の涵養上、人口の調節上將又食糧問題の解決上並に民族の世界的繁殖上、時代の要求する所なること、本邦官民の共に首肯する所にして、從つて民間に於ける海外企業の計劃せられたる事從來其例に乏しからず、政府當局も亦之を援助し來つた。又外國在留移民も今や數十萬に達せる事實は、悉く右時代の要求に基くものなること申す迄もない。然るに從來本邦人の發展を試みたる北米太平洋沿岸、加奈陀並濠洲等に在りては、不幸にして排日思想を生じ、邦人の經營に係る諸般の事業何れも所期の發達を遂ぐるに能はず、特に北米合衆國に於て、甚だしく不利なる狀況に陥りたる事實は、頗る遺憾に堪へざる次第であるが、要す

るに排日思想の根源は、黃人種の勃興と英米人の經濟的活動との間に、利害相反する事情の伏在する點に存する。故に此利害の衝突抵觸を迴避し、平和的に我民族の發展を企劃することが最も肝要である。

於茲、廣く眼を世界の各方面に注ぎ、邦人の發展上比較的無碍自由にして、且有利なる天地を求むるに、現時に於いては南米諸國、特に伯刺西爾、亞爾然丁、秘露、智利、暮利比亞並にコロンビアを措て他に之を見出すことは困難であると思はれる。

南米の生活は安全

抑も、南米諸國は國土廣大、地味肥沃にして、資源豊饒なるも、人口の密度稀薄にして、開拓の餘地頗る大なること、汎く世人の知る處である。而して國富の増進は一に之が開拓に在るを以て、各種産業の勃興と、急速なる労働の増加を要望しつゝある實情である。是即ち南米諸國の國民が人種的偏見を有すること尠く、人類平等の思想を懷き、四海同胞博愛の主義を鼓吹し、自ら門戸を開放して各國民の入來を許容し、外資と外國労働とを誘入して資源を開發せんとし、土地所有權を始め、各種の産業的企業に對し、外國人に與ふるに、國民と同等の待遇を以てする所以である。

南米諸國は今や國家として國際上獨立の安定を得、強國の脅威を受けず、内治の組織は完備し、共產主義又は無政府主義の迫害を感じる事尠なく、社會は概ね健全なる發達を遂げ居るを以て、將來も恐らく甚しき動搖擾亂を見る事はないであらう。是れ南米は個人の生活上、私有財産の設定上、最も自由安寧の境域たる所以である。

南米の思想政治社會と個人

更に南米の思想上、政治上、社會上の情況を觀察するに、南米諸國は主として西班牙人、葡萄牙人の子孫及是等國人と在來土人との混血兒を以て國民の骨子となし、歐洲拉丁系諸國、特に佛國の民主的自由思想を繼承し、歐洲の母國より獨立して不羈の新國家を形成したるものであつて、歐米との交通常に親密を保ち、歐米に起れる新文明は悉く之を誘入し、各種の教育機關を有するのみならず、生氣横溢せる青年の多くは、歐米に遊んで新思潮の傾向を知るに努めて居るから、政治家の思想は決して歐米人に比し遜色なきのみならず、往々歐米人以上の理想的政治を實行せんとする傾向もあり。社會民衆の公德心、歐米諸國に比すべく、都市村落の設計、衛生の設備、警察の組織等も相當に備はり、加ふるに我國に於けるが如く天災地映頻繁ならず、人口の過剰に基因する生活難

も甚だしからず、租税の負擔亦甚だ重からず、従つて住民は其の堵に安んじ、向上發展の意氣充實する者に在つては、着々自己の運命を開拓して其の志を遂ぐるの途がある。蓋し、社會文明の設備、經濟の組織等最新の系統に屬し、完全の域に近きを以て、各個人は充分に經濟活動の効果を收むる事が出来るのである。又都市に在つては大小其の規模に應じ、適當なる享樂の機關を缺かず、又自由にして且愉快なる生活を遂ぐる事が出来る。

故に南米諸國中最も開化の域に在る伯刺西爾、亞爾然丁兩國の如きは年々歐米諸國より入來移住する者頗る多く、後者の如きは一年間に（一九一三年）に三十餘萬人の入國移住者を算したことがある。

企業と移住の餘地

右様の事情なるを以て、南米諸國には外國資本の放下せらるゝ者尠からず、亞國に於ける銀行、鐵道、土木、築港、瓦斯、電氣、鑛山、農牧並商工業に投資せられたる歐洲諸國の資本中、英の三十七億三千万圓、佛の十一億圓、獨の四億二千萬圓、白耳義の四億圓等は其主要なるものと稱せられる。其他伯刺西爾、智利、秘露等に於ても亦多額の外資放下せられあることは汎く人の知る處で

あつて、是れ全く南米諸國が各種産業的企業に適することを證明するものである。是等企業の餘地極めて廣く、且移民包容力も亦極めて大なる事實に基き、本邦資本家の注意を喚起すると同時に、本邦移民の渡航を奨励する價值充分ありと認められる。

從來彼地に渡航したる邦人にして現に在留せるもの伯刺西爾に約三萬人（七千五百十家族）秘露に約一萬五千人、亞爾然丁に約二千五百人ある。其他智利、暮利比亞等にも多少の在留者がある。而して何れも順調に發展しつつあるが、此等邦人の經濟的發展を一層助長する方針を樹つること蓋し策の得たるものであらう。

排日思想の有無

邦人の南米發展を計畫するに當り、同地方に於ける邦人排斥の有無は固より顧慮すべき所であつて、南米對策を定むるに當り、先づ第一に研究しなければならぬ點であると思ふ。此點に關し所見を述べれば、從來南米諸國中、邦人の入り込める地方に於いて、多少本邦人を使用した經驗ある者は、之を排斥する傾向を有する者少く、寧ろ、本邦人を以て他の歐洲移民より勝れたとする者も多い。是等は皆本邦人を使用して事業に好成績を擧げ得たる結果、本邦人に好意を有するものであ

る。勿論之と相反する例證も稀に無いではない。

歐洲移民に於いても亦之と同様である。即ち、之を歓迎するものと非難するものとある。就中露國移民の如きは概ね排斥的となり居る模様である。故に單に本邦移民が歓迎せらるゝと云つても何等絶對的の意味でなく、相對的には反對説も攻撃説も決して無いとは知らねばならぬ。南米中本邦移民の良否に關し、議論の發生する所は、本邦人の最も多く入り込める伯刺西爾並秘露である。

伯刺西爾に在つては醜貌なる日本人を移入するは、伯國人の體型を醜化する虞あり、白人の伯刺西爾たる理想に反すとなし、本邦移民反對論を公にしたものもあつたが、之に對し『僅に數千の日本移民を誘入したりとて個人の體型に變化を與ふる如き虞ないばかりか、却つて日伯貿易の發達を促す利益がある』と辯駁した者もある。又秘露人「ガルシヤガルデロン」が、其著『羅典亞米利加、其勃興と進歩』と題する書中に『日禍』の一章を設け、日本移民反對説を唱へたのは事實であるが、右は南米太平洋沿岸に移住して、新日本を設立すべしと高唱せる本邦内地に於ける新聞其他の論調の不穩當なりしに基く一種の對外意見に外ならない。然れば、同氏の著書には單に『日禍』を説

くのみならず、北米の帝國主義を論じて「米禍」と稱し、米禍より拉典亞米利加を救ふには獨逸との同盟に依るも可ならん、或は日本の武力に倚頼するも可ならんと述べ、更に章を改めて「獨禍」なるものを論じ、伯國の南部を侵犯するものは獨逸であるとなし、獨逸移民排斥論となつてゐる。故に南米に於いて日本人のみを排斥する傾向あるのでない、寧ろ排日論は議論に止まり、それと他國人に對する排斥思想に比すれば輕微であるばかりでなく、現に南米諸國中、北米、濠洲等に於けるが如き排日運動のないのは事實である。が、諸國の法制上本邦人のみを排斥するが如き規定を存するものなく、從來黄色人種を移民として入國せしめ得る規定を存する國にあつては、本邦人のみは之を除外例とするに躊躇しない。

之を要するに、世界中本邦移民を眞に歡迎する國ありやと問はゞ、恐らく、無しと答ふるの他はない。南米諸國にあつても、積極的に之を歡迎し、歐洲移民より寧ろ邦人を選ぶといふやうな傾向のない事は事實である。

然し乍ら、之を排斥する者でない以上、其處に本邦人の移住を實行する事は差問ない。元より排斥を未然に防遏するの方策に至つては、極力之を講ぜねばならぬ事は勿論であるが、排斥がないの

八 對南米經濟的發展實行案

宣 傳

一 對內宣傳

南米諸國の國情を成る可く精密に調査し、之を國民一般に周知せしめ、國民をして自然同方面に興味を抱いて活動する意思を啓發すること。

方 法

- イ 海外事情を講演、繪畫、活動寫眞等により宣傳すること。
- ロ 在外公館、の報告は之を新聞雜誌記者に積極的に説明し、且掲載すること。

二 對外宣傳

南米諸國に對し、本邦人排斥を豫防する目的を以て本邦の事情を精確且つ眞實に報導し、同時に外國の反日宣傳を打消す事に努め、此の目的を達成する爲め、或は半官的通信社を設け、或は在外公館を通じて、外國各地に於ける新聞紙をして本邦に關する記事を報導せしむること。

公文書又は之に準ずるものは在外公館を通ずること從來の如くなるも、其他一般通信は本邦内地に在る國際通信社又は通信員を利用し、南米諸國特に亞爾然丁、伯刺西爾の新聞を第一とし、智利、秘露等の新聞にも特約掲載せしむるを可とす。此の通信宣傳は當分一週一回位の所より始め、漸次頻繁となす事を可とする。

亞爾然丁、伯刺西爾及秘露に在る邦字新聞社を利用するは、彼等を指導して優良なる新聞となす上にも必要であつて、又當方の便宜も多いであらう。邦字新聞に外國諸通信欄を設けしむる事も亦面白い一案と思はる。

渡行許可

(一)南米方面に渡航する産業研究視察旅行者又は眞面目な移住者に對し簡易手續を以て旅券を下附する事、而して一般に海外自由渡航の原則を認むる事。

方法

- 一 中等教育を受け且資産あるもの又は近親に資産家の後援を有するものは第一に此簡易手續を適用すべく、其資産の状態は村長、區長、市長の證明を要求して之を知ること、
- 二 職業學校を卒業したる技術者、徒弟より成り上りたる職人、又は商人にして、高等小學卒業程度以上の學力あるもの。

右は資産證明を要せず、或るべく在外者の呼寄を提出せしむることを得べし。呼寄證明を有するものは特別の事情なき限り旅券を下附すること。

- 三 無藝なる筋肉労働者、又は資産家の子弟にして低能なるものは移民會社又は直接監督者之を引卒する場合にのみ許可すること。

(二)各府縣地方官憲に於て海外移住民を選択、訓練する制度を設けること。
耕地少く又産業も少き村落にして、壯丁の數比較的多き時は最も眞面目なる者を選択して模範移民たらしむること。

出稼移民保護の爲基本金を作り、之を縣の商業課等に於て監督管理すること。

(三) 移住者に對する在外職業周旋所を起し、移民官又は在外公館にて之を監督保護すること。
職業周旋所は拓殖會社の事業の一部とすることを得べく又獨立の周旋所として公認するも可。

企業獎勵

(一) 本邦資本金又は企業家の南米視察を獎勵し其南米に於ける企業に對して援助と便宜を供與す。

(二) 南米企業を助長する爲め民間に特種銀行の組織を勸奨すること(勸業銀行の事業擴張、低利資金の融通、利子補給を實行すること)

(三) 民間企業家をして南米各地方に有利なる土地購入に著眼せしむること。

戰後世界經濟界の不況に基因し、南米に於ける地價低落し居る事實に鑑み、速かに着手するを得策とする。南米諸國に於いて外國人は概ね土地所有權に關し國民と同様の待遇を受ける。

(四) 購入せる土地には速かに本邦人を誘入し、開拓に當らしむること。

但し、土地と新移民とを必ず結合せしむること困難なる場合は、強て之を遂行せしむるに於ては却て外國の誤解を招くことあるべきを以て、外國人又は在留邦人を誘入する方有利なる場合あり、

又全然邦人を誘入せざること利益なる場合ありと知らねばならぬ。伊太利人をして開拓せしめ、後、邦人を以て之に代らしむるも一策であらう。

(五) 南米諸國の公債を研究し、之に應募すること必ずしも不可でない。

(六) 鐵道敷設の權利を獲得すること。

南米に於て鐵道敷設權の讓渡の如きも一種の産業として手軽く取扱ふこと我國と大に趣を異にする實情である。且つ敷設後適當の時機に於て政府に買上を求むる事も出来る。

(七) 拓殖會社をして大移民經營の計畫を實行せしむること。

拓殖會社をして大規模なる土地を入手せしめ、之に秩序的に本邦人の移殖を行はしめ村落を形成せしむ。邦人村落は外人の村落と入り交り差間なし。村落と村落との間には行通道路、カミオン道路、鐵道等を設け聯絡並生産物運搬に便ならしめ、倉庫を起して殖民村落の生産物の集散を司らしめ、工場を起さしめ、原料を製品とし、製品は市場に販路を保たしむるの組織を設くること。同時に殖民地に於ける移民が衣食住の安定を保持し得る様設備すること。

國籍の變更

(一) 海外移住者が各種の私権を享有すると同時に、政權に關與することを得る爲め、在外邦人に外國々藉の取得を勸奨すること。

教育並教化

(一) 海外に於ける本邦人子弟の教育に對しては官廳は直接間接に保護指導を加ふること。
在留邦人の教育は在留地の制度に據らしめ在留地の國民教育を受けしめ、本邦教育は補助教育として之を施すこととなさしむること。

(二) 宗教は在留地の國民と同種の宗旨に可成歸依せしむること。

衣、食、住

住宅、衣服、飲食物等何れも在留地の住民の習慣に倣はしめること、海外各地日本人會等の仕事として在留地の風俗習慣に同化する方法を講ずること。移民官又は領事を時々管内を巡廻視察せしめ必要に應じて訓示を爲すこと。

子孫(種族保存)

外國に於ける邦人の後繼者保存の方法を講ずること。

在留地に於ける邦人子女の結婚及在留地國民との結婚を奨励し、又内地に於ける子女との寫眞結婚は主義に於いて之を許容すること。結婚のために歸朝し、再渡航せんとする移民に對し、徴兵の義務履行を強要せざること。

國民親善の基礎

南米各地に邦人と邦人在留地國民との親善を圖る機關を設定するに努むること。
在外公館をして例之、日伯協會、日亞協會等を組織せしめ日伯人、日亞人の接觸社交を計畫せしむること。

純粹なる伯國人又は亞國人と日本人との接觸を圖る機關なる故、他國人を包含せしめず、日本人にして伯國又は亞國に歸化したる者は特に之を利用すること。
本邦内地にも事情の許す限り同様の機關を設くること。

(完)

世界パフンツト通信

大正十一年十月十五日印刷
大正十一年十月廿四日發行

〔會員組織〕

東京市本郷區弓町一丁目二十五番地
發行人 野澤源之丞

東京市本郷區弓町一丁目二十五番地
印刷人 鈴木利貞

東京市本郷區弓町一丁目二十五番地
發行所 世界思潮研究會

振替東京三八四二九
電話小石川一三六九七一

會費一月貳圓・六月七冊發行

終